



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

今回の東日本大震災において、お亡くなりになられた皆様に深い哀悼の意をささげます。また被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地選出議員として一日も早い復興に全力で取り組みます。

3.11の衝撃を、必ず乗り越える!!



3月11日14時46分。この時を境にして世界が一変した思いです。毎週金曜日には仙台に帰るため、この日も15時56分東京発の新幹線に乗り、18時からの会合に出席する予定でした。去年、新しくなったばかりの議員会館が大きな横揺れに襲われ、中学2年生だった宮城県沖地震で経験して以来の恐怖心を覚えました。宮城県北部では、震度7、東京も震度5強だったのです。

私は議員会館8Fの自室で、翌週に開催される災害対策特別委員会の質疑の内容を詰めていました。今年1月に文科省が宮城県沖地震の発生予測度を格下げしたことに異議を唱え、その根拠を糺すとともに、政府の地震対策について、救急医療体制の問題点や通信設備の強化などを取り上げるつもりでした。今となっては本当に皮肉としか言いようがありません。

15時には、党本部に災害対策本部が設置され、副幹事長の私は緊急招集されました。15時15分過ぎごろだったと思いますが、対策本部にあるTVのNHKの中継画面で一番最初に映し出された被災映像が地元仙台の若林区でした。

なぜ、仙台が、、、ウソだろ、、、。全く信じられない光景に頭が真っ白になりました。まるで映画のように巨大な津波が押し寄せる迫力に唖然としながらも、直ぐに我を取り戻し、関係者に電話をしまくりました。東部自動車道が実質的な防潮堤の役割を果たして、津波を何とか食い止めたころには、電話もつながりにくくなりました。22時過ぎには仙台市若林区で200~300人の遺体発見のTVに慄きました。

震災当日は東京もJRや地下鉄はほとんど運休になり、多くの人が歩いて家路を目指しました。翌日、都内はかなり電車も復旧してしま

したが、東北新幹線は再開の目途すら立ちませんでした。このため緊急車両の認定を受けて東北自動車道をひた走り、12日の午後15時過ぎには仙台に戻り、県庁の災害対策本部の会議に出席しました。杜の都の沿岸部はまさに想像を絶する地獄絵で、言葉で表現できない衝撃を受けました。

救助・救済、復旧の作業が、未だに継続しており、あの日から一カ月以上も経つのに、死者や行方不明者の正確な数がつかめず、依然として全容が見えない状況は、いかに甚大で広域に及んだことの証左に違いありません。しかし、私たちはしっかりと顔をあげて、今後の新生東北の復興、そしてさらなる振興を目指して、All Japanで総力を結集し、必ずやこの困難辛苦を乗り越えて見せようではありませんか!!

数字で見る大震災

地震の規模	マグニチュード 9.0	国内観測史上最大
津波の高さ	最大 37.9m	明治三陸地震で最大38.2m
直接損害	総額 16兆~25兆円	阪神大震災は9.9兆円
浸水面積	507km²	JR山手線内側の8倍
農地被害	2万3600ha	東京ドーム5050個分

ライフラインの損害、復旧状況

	震災直後	現状
断水	約180万戸 (3月16日)	25万戸超 (4月9日)
停電	約466万戸	約15万8400戸 (4月10日)
不通 (加入電話)	約87万9500回線 (3月13日)	約4万9100回線 (4月9日)
給油所の営業比率	4% (3月21日)	91% (4月5日)

自由民主党副幹事長
衆議院議員

秋葉賢也

【活動ブログ】 www.akiba21.net/ 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 是非フォローして下さい!

『3・11東日本大震災』ドキュメント 秋葉けんや代議士の行動を追跡しました!

【3月11日～30日】

- 11日
- 14:46 震度7の地震!マグニチュード9.0史上最大直後、ツイッターで津波の危険性を訴える! 10分後に幹事長室から招集がかかる。
- 15:00 自民党災害対策本部の設置(本部に詰める)
- 15:15 テレビで宮城県の津波被害が報道される。
夕方 都内では、交通渋滞、公共交通機関、高速道路ストップ(長時間車内に閉じ込められる)22時過ぎには仙台市若林区で200~300人の遺体発見とのTVテロップ
- 12日 午前中、党本部での災害対策会議に出席し、その足で午後緊急車両として東北自動車道を北上し、真っ先に仙台に入る!!以後、21日まで、地元に着く。
- 13日 県庁の対策本部の会議に同席し状況を把握。
21日まで地元で救助活動、情報収集、避難所をめぐる。
- 22日 11日ぶりに上京。谷垣総裁、石原幹事長、逢沢国対委員長等党幹部に現況と課題を報告。
首相官邸で福山官房副長官に迅速な支援を要望。
- 23日 外務委員会で東日本大震災に関連して、外務省の取り組み、外国からの支援状況を質す。
- 24日 東北経済連合会・東北六県商工会議所連合会から緊急要望を谷垣総裁らと伺い対応する。
- 27日 谷垣総裁にご来仙頂き、県庁で村井知事と懇談。その後、被災状況を荒浜、蒲生で視察する。
- 28日 災害特での質疑で、GSの給油見通しや、ワンストップサービスの実現などを問う。
- 29日 本会議で租税特別措置法等の改正案に賛成討論
- 30日 東北新幹線、被害1200箇所の内半分修復完了。

【4月1日～15日】

- 1日 石破茂政調会長と被災地を視察。首長と会談。
- 2日 震災による孤児17人となり、対応を調整。
- 3日 約1万haの水田は津波の塩害で作付けできない見込み、水田の復旧への対策を要望する。
- 4日 仙台市内でGSが並ばずに給油可能となった。
- 5日 自民党の法整備緊急対策PTの小里座長と林政調会長代理が来仙!蒲生や深沼、藤塚の海岸まで案内し、仮設住宅への早期移転の要望を避難所で頂く。
- 8日 安倍晋三元総理が来仙!4トントラックにリクエストの多かった肌着、紙おむつ、自転車などを満載し、被災者を激励していただく。
- 10日 県の災害対策本部に出た後、片山さつき参議と避難所や各種団体を訪問。第二次緊急対策提言に向けたヒアリングを経済団体など関係機関に行い、政策提言を取りまとめます。
- 11日 JR東日本から東北新幹線、東京～福島間は今月12日から東京～仙台間は27日から再開との報告あり。GWに間に合い、大変助かります。
- 12日 福島原発もレベル7の最悪の事態に。
- 13日 仙台空港 暫定供用開始。
- 25日 東北新幹線(東京一仙台)再開!



11日15時@自民党が緊急対策本部を設置
副幹事長として幹事長室に集まりました。報道では、仙台空港周辺の凄まじい映像が映し出されました。4キロメートルほど沿岸から浸水しました。

◆仙台市が地盤の秋葉賢也・自民党衆院議員「どこに電話してもつながらない。テレビで見える情報が一番早い。東京にいる人間が一番詳しい状態だ」(党本部で記者団に)
▶朝日新聞 3月12日(土)

平成23年度特別交付税の特例交付額の決定

東日本大震災による被災団体及び応援した団体に対して支給されるものです。

道府県分	331億円
市町村分	430億円
合計	762億円
宮城県分	130億円
仙台市分	10億円



22日@総理官邸

現地から戻り、松下政経塾の後輩の福山官房副長官に具体的な支援策を要望しました。地元選出の国会議員として小まめに現場の声を届け続けます!



23日@外務委員会

秋葉けんや代議士は、外務委員会の場で、諸外国からの支援の具体的内容について、福島原発事故事案の対応等について政府に答弁を求めました。



24日@自民党総裁室

東北経済連合会 会長 高橋様、東北六県商工会議所連合会 会長 鎌田様らから東北地方の要望を預かりました。議員室にて奥山仙台市長からも緊急要望をうかがいました。秋葉代議士は政府に早期実現を働きかけていきます。



小松安吉を大きく国政へ。秋葉賢也はいのでも見地見場主義!



27日@谷垣総裁来仙!

谷垣総裁にご来仙頂き、県庁で村井知事と懇談。資金面を始め全力で対応することを約束されました。この後、津波被害がひどかった荒浜、蒲生を視察しました。



1日@石破茂衆議来仙!

石破政調会長と一緒に宮城県沿岸北部の被災地現場を視察し、各首長から陳情を受けました。航空自衛隊松島基地では1機約40億円のF-2が18機塩水に浸かるなど莫大な損害です。



28日@災害特別委員会

宮城県の石油流通の現状などについて防災担当副大臣を質し、ガソリン供給問題の早期改善の見通しを伺いました。「見通しはわからない。」との情けない答弁でした。スピード感ある対応を求めます。



5日@林参議と小里衆議が来仙!

林参議と小里衆議を案内し、沿岸地域まで訪ねました。2人とも余りに悲惨な光景が広がる様に絶句していました。ご要望にあった仮設住宅の迅速な建設や自由に使える交付金などが2次提言に反映されています。



29日@『賛成討論』

租税特別措置法等の改正案に賛成討論しました。4月以降の混乱を回避するために賛成したものの歳入予算と歳出の予算関連法案は表裏一体。民主党の国会運営の姿勢に疑問を呈しました。



8日@安倍元総理が来仙!

トラックに自転車や肌着、食料等の沢山の支援物資を詰めて被災地4か所を回り、被災者を激励されました。要望の強い仮設住宅の設置も実現していきます!



30日@外務委員会

米国へのホストネーションサポート(所謂思いやり予算)について。2年前当時野党だった民主党は反対していました。しかし、与党になり法案を出す側になった途端に、何らの総括・反省なく賛同している姿にただあきれるばかり。



10日@片山さつき参議院議員が来仙!

片山さつき参議と避難所や各種団体を訪問。今週中に震災対応への第2次の法整備案をまとめ、官邸に提出します。回答が来次第ご報告させていただきます。これからも現場の声を大事にしていきます。

TPP亡国論!秋葉代議士が熱く語る!



3月5日(土)に若林区の松音寺本堂にて、秋葉けんや代議士は、京都大学大学院助教授の中野剛志先生と対談いたしました。テーマは「何故今、TPPなのか。」です。200名超のご参集の皆様方お忙しい中誠にありがとうございました。

秋葉けんや代議士の主張⇒TPPは国益を考えるとすれば時期尚早であり、慎重に対処していかなくてはならないと考えています。

TPP巡り議論

政府が交渉参加を検討する環太平洋経済連携協定(TPP)の課題を考えるイベントが5日、仙台市で開かれた。京都大の中野剛志助教と自民党の秋葉賢也衆院議員(比例東北)が、TPP参加による国内経済への影響などを議論した。

イベントは市内の市民団体が企画。中野助教は「TPPは、安価な製品や労働力の流入を起し、国内のデフレは悪化する」と指摘。「政府は

積極財政で内需を拡大させるべきだ。その後、アジアからの輸入が増えれば、世界経済の安定にもつながる」と注文を付けた。

秋葉氏は「小麦や大豆などの基幹的な農作物の生産を海外に頼るのは安全保障上、危険だ。民主党政権には、自給率を高める具体論がない」と政権を批判した。

▲読売新聞 3月6日(日)

『復旧・復興に充てる総額4兆円となる第一次補正予算案』

・雇用対策	1兆円	・中小企業の資金繰り対策	5000億円
・公共事業	1兆2900億円	・農業・漁業者への支援	2600億円
・災害廃棄物処理	3000億円	・学校施設等災害復旧費	2000億円
・仮設住宅7万戸の 設置や避難所支援	4830億円	・自家発電設備の設置支援	180億円
		・地方交付税の増額	1200億円

4兆円の財源確保は?

基礎年金の国庫負担分	2.5兆円
子ども手当での増額凍結	2100億円
高速道路無料化の凍結	1200億円
ODA削減	1100億円
経済危機対応・地域活性化予備費	8100億円

☆復旧・復興に向けて東北魂を結集しよう! バラマキ予算(子ども手当等)を削って挙国一致での国民運動的取組みが必要です! 自民党本部では、「東日本巨大地震緊急災害対策本部」を設置し、総力上げて被災地への救援・復興支援運動に取り組んでいます。さらに5兆円規模の緊急支援策を政府に要望!



自民党は4つのプロジェクト創設=政策力と実行力で新たな国土のグランドデザインを創造します! =

「法整備等緊急対策プロジェクトチーム」

秋葉けんや代議士が幹事のプロジェクトチームです。一次緊急提言を政府に申し入れをし、7日に官房長官が党本部にて回答を手渡しました。その後、仙台の宮城野区、若林区といった地元被災地・避難所を訪問し、4月13日第2次緊急提言をまとめました。仮設住宅の迅速な建設や被災者支援に幅広く使える交付金の創設などが要望され提言に反映されています。

「復興再生基本法等の検討に関する特命委員会」

復興再生に関する基本的な考え方について、議員立法による復興再生基本法(仮称)の制定や復興再生のための基本計画などについて取りまとめます。秋葉代議士は、復興院の創設や地方自治体の声を政策に反映するよう提言しています。

「原発事故被害に関する特命委員会」

6日、原発事故被害に関する緊急提言を取りまとめました。70項目の提言内容となっており、重要項目として安全な避難民の一時帰宅の許可や生活資金の支給などを掲げています。とりわけ、避難住民の一時帰宅については、いつごろまでに政府は許可をするのか示してほしいと強く要望しています。

「エネルギー政策合同会議」

5日夏には1000万キロワットの電力供給不足が予想されるため、具体策としてガスタービンなど緊急設置電源の新設や自家発電設備からの電力購入などが提案されました。4月中に緊急の電力対策をまとめ上げ政府に申し入れをする予定です。



若林区南郷中学校の地域の方々に震災の状況をうかがい、今後の対応についてお話ししております。



若林区荒浜地区の被災地に連日足を運んでいます。津波被害が甚大で何度来ても絶句してしまいます。



宮城野区蒲生地区4町内会合同対策会議。意見交換しながら実情に応じた対策を提言しております。



宮城野区の被災地をくまなく歩いています。どこも悲惨な状況。すぐに党災害対策本部等に連絡をし、復旧・復興に向け走り続けています。



宮城野区岡田小学校に多くの住民が避難されています。少しずつ情報が入るようになってきました。仮設住宅の早期建設が急がれます。



宮城野区高砂中学校の支援物資。ご支援ありがとうございました。今後も復興に向け、尽力してまいります。ご要望をなんなりとお寄せ下さい!

秋葉けんや代議士の「現地現場」被災地・避難所での活動報告!

～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、48才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員(三期目)。自民党副幹事長(二回目)。
- 衆議院外務委員会理事、沖繩及び北方問題特別委員会筆頭理事、災害対策特別委員会委員、シャドウキャビネット外務副大臣、党外交部会長代理、情報調査局次長、ネットメディア局次長などを務める。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。 ● 特技:書道三段・空手初段。
- 尊敬する人:松下幸之助・マザーテレサ。

秋葉賢也事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 株式会社アクジャパン